

報告します 委員会は今

総務文教常任委員会



●事務調査 新年の予算方針は

過疎自立促進計画の新規事業および継続事業など、多くの補助や単独の普通建設事業、ソフト事業を計画しているが、各課において長年続けてきた事業の見直しを図る。
第2次行財政改革推

新年度予算方針など調査

進プランに基づき切れ目なく行財政改革を継続実行することにより「強い財政基盤」を確立して、各事業とも質の高い行政サービスの継続的かつ安定的に提供し、全町農村公園化の具現化を目指す。

財政推計の実質収支はH24年度からマイナスに転じ、特にH26年度は防災のデジタル化などにより4億円のマイナスとなっている。
財政調整基金は、H24年度は29億円でH25年度から減額、H27年度には20億円となっている。
実質公債費比率と公債費もH27年度まで推計されており、H24年度には18%以下となっている。

公有財産の利活用は

旧東小学校は一部改修中であり、H24年2月には基本方針が決定される。

旧おおた保育所は一部解体が完了し、残存施設は世羅町児童ふれあいセンターとして活用される。

タイケン学園貸付物件は、H23年4月に返却の意思表明があり、H23年8月に有トツツと賃貸借契約が締結された。

子ども発達支援センター仮称

子どもの発達障害の早期発見、早期支援などを行うため、福山市が設置主体となり6市2町による共同運営となる。

第5期介護保険事業の骨格・素案は

世羅町は、第一号被保険者一人あたりの給付費は23市町のうち16位、要介護認定率、利用率はともに15位で、施設サービスの利用者

数、支給額の割合はそれぞれ21・22位である。

学校運営は

小学校は少人数対応教員として、世羅小学校に町費負担の加配教員5人が配置され、介助員など14人配置。
中学校の教科書採択は2市2町世羅郡教科用図書採択地区選定調

議会改革調査特別委員会

●調査中間報告

前回に続き議員定数を調査した。

前回集約した意見の確認と参考資料を基に、議論を具体に前へ進める方向で意見を聞いた。

全委員から、現状維持か減少すべきかの意見と、その理由を聞き採決を行った。

その結果、定数現行のままに



議員定数など調査

賛成が8人、削減が7人となり、次期町議選

太陽光発電の現状は

小中学校7校の太陽光発電設備設置前後の電気使用料の比較は11月までに約153万7千円の効果があつた。

査会の調査報告に基づき、世羅郡教科用図書採択地区選定委員会が選定し、教育委員会に答申して決定された。